■研修３　「夜間中学校における宝塚市での取り組み」　宝塚市議会議員 寺本さなえ氏

議員ができることは、①一般質問などで取り上げ、市教委から県教委へ要望をあげさせる、②各議会から県教委などに意見書を提出する

夜間中学校、心を揺さぶられました。必要とする人は多いのに絶対的な数が足りていません。課題を的確にとらえて、充実の声を上げていかねばなりません。

宝塚市議の寺本さん

尼崎市長の稲村さん

SSWの拡充を！ ～関西若手議員の会@伊丹～

「関西若手議員の会」という団体があります。「全国若手議員の会」の関西支部で、４５歳までの議員有志が所属している会です。私も所属しており今年度は副会長（兵庫担当）を務めています。副会長の任務の１つは地元で研修会を開催すること。そこで4月18日（水）「関西若手議員の会 研修会@伊丹」を開催しました。

研修の１つは「学校におけるソーシャルワーカー（ＳＳＷ）の必要性」。武庫川女子大学文学部 半羽利美佳先生に講演いただきました。

●ＳＳＷとは：社会福祉の専門知識や技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭学校地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家（文科省「Ｈ２２年生徒指導提要」）

●ＳＳＷの支援：子どもが抱えている問題の背景（理由や原因）を探る→具体的な支援をする（個人だけでなく環境にも）。多角的な視点と、家庭・地域・学校との連携による支援体制が必要

●ＳＳＷの課題：①力量ある人材の確保（雇用条件の改善）　②質の担保（社会福祉のバックグラウンドを持つＳＳＷの拡充）　③学校教員のＳＳＷに対する理解の促進

●今後に望むこと：①地方教育委員会によるＳＳＷ活用のビジョン　②ＳＳＷの雇用条件の改善　③研修への参加促進

議員からは「成果を数値で出せないのか」「他職と兼務は可能か」などの質問が出ました。各議員とも、ＳＳＷの必要性を痛感し、自身の自治体でどう拡充できるかを必死で探っていました。知恵を絞りながら、子どもの成長する権利・教育を受ける権利を保障する社会をつくることを、メンバーで再決意できた研修会になりました。

～情報はここから～

●ホームページ　http://sawako-aizaki.com

●ブログ http://yaplog.jp/sawako-aizaki/　毎日更新中！

●Facebook　https://ja-jp.facebook.com/sawako.aizaki

●ツイッター ●インスタグラム　相崎佐和子　検索

ポスター掲示のお願い

相崎のポスターを掲示してくださる方を募集しています！　塀やフェンスに貼っていいよ、という方は下記までご連絡ください。お願いいたします！

相崎佐和子 プロフィール

●1973年3月生●親和女子高校●奈良教育大学●　〃　大学院(政治学)
●フリーアナウンサー●地元ケーブルテレビ(現:ベイコム)アナウンサー
●第１２代兵庫県広報専門員●伊丹市議会議員（現在３期目）
●第61代 伊丹市議会議長 ●ローカルマニフェスト推進連盟 共同代表
●出産議員ネットワーク 関西代表 ○家族:夫・長女(中1)・次女(小3)

発行元　：　相崎佐和子
連絡先　：　〒664-8503 伊丹市千僧1-1
伊丹市議会内
電 話　：　(090) 8528-3870
メール　：　sawako-aizaki@hcc6.bai.ne.jp